

# 平成29年度学力向上推進実践報告

竹富町立鳩間小中学校  
家庭・地域教育部会

## I はじめに

本年度本校児童生徒数は、12月1日現在5名（小3名、中2名）で、世帯数は5世帯である。児童生徒数及び保護者が少ないため、地域住民のうち約10名が賛助会員として登録し、PTA活動に関わっている。地域の学校教育に対する関心は高く、学校行事にも積極的に参加している。また、学校も地域行事に積極的に参加しており、学校と地域は不離一体である。地域の特色を活かしながら、児童生徒のコミュニケーション能力、表現力、豊かな人間性何事にも粘り強く挑戦する児童の育成を目指し、本教育部会において、「基本的生活習慣の形成」「家庭学習の質の向上」「体験活動の充実」を重点的に取り組んだ。

## II 目標

表現力豊かで心優しく、粘り強い児童生徒の育成。

## III 基本的な考え方

- (1) 基本的生活習慣の確立を図るとともに家庭学習の習慣化と充実を図る。
- (2) 豊かな自然に囲まれた環境を生かし自然体験活動を推進する。
- (3) 学校、家庭、地域との連携を密にした活動に取り組む。

## IV 具体的な取り組み

### 1 家庭における取り組み

- (1) 家庭学習や読書の習慣を身につけさせる。
  - ① 宿題をしっかりと見る（コメントを書くなど学校との連携）
  - ② 毎週水曜日の朝の読み聞かせ活動
- (2) 生活リズムを整える（早寝早起き）
- (3) 「あいさつ・返事・後始末」を家庭・地域でも共通実践する。
  - ① 「おはようございます」「こんにちは」など、地域にも気持ちのいい挨拶を行う。
  - ② 物を大切にし、使用したものの後片付けをしっかりと行う。
  - ③ 地域行事への積極的に参加する

### 2 地域の取り組み

- (1) 地域行事への積極的な参加と伝統芸能の指導など（豊年祭・各月の願い）
- (2) 声かけ運動の実施
- (3) 学校行事への協力
  - ① 児童生徒活動資金造成に関わる取り組み（星砂採取・空き瓶回収）
  - ② 運動会への全面的な支援（賞品用グルクン釣り・テント設営・放送器具設置）



### 3 子ども会活動

- ① 夏休みラジオ体操、花火会
- ② 地域・海岸の清掃活動（年2回）

V 主な活動 (4月～12月)

実地日	行事名	活動内容	活動の様子
5/3	鳩間島音楽祭	音楽祭に、児童・生徒が出演したり、PTAで出店をした。	
5/11	星砂採集	学校と協力し、星砂の実地学習と採取の協力をしてPTA活動資金造成に協力した。	
5/19	グルクン釣り体験	学校・地域と共にグルクン釣り体験活動に協力した。	
6/25	鳩間校大運動会	地域・保護者・郷友会・観光客も参加しての大運動会。当日の演目出演はもちろん、前日作業や当日の後片付けも協力。	
7/7	海浜清掃	学校・PTAが協力して、学校周辺の海浜清掃を行った。(学期各一回)	
7/13	海の安全教室	学校近くの海浜で海上保安官の方を講師に招いて、海の安全について指導して頂いた。	

7/24	ラジオ体操・学習会	ラジオ体操の後、保護者で、当番日を決め、体操後に、朝の学習会（8：30～）を行った。	
7/29	鳩間島豊年祭（トーピン）	鳩間島豊年祭の伝統行事に全児童・職員・保護者で参加した。	
9/19	敬老会	鳩間島のお年寄りの方を公民館役員が主体となり公民館に招待し、全児童でお祝いをした。また、敬老者の方にメッセージの寄せ書きをプレゼントして喜ばれた。	
10/15	竹P連・童話・お話し意見発表会	鳩間の代表として、自分の考えた事を発表する事ができた。	
11/23	学習発表会	① 第一部【展示の部】自分たちが取り組んできた学習や成果物を来場者に説明した。	
11/23	学習発表会	② 第二部【舞台発表の部】地域の方を講師にした伝統芸能や方言の練習の成果を披露した。	

12/6	縄ない体験	地域の方を講師に島の行事「島っさる」用の縄のない方を教えてもらった。	
12/9	島っさる (イソパレ・ユートパレ)	島の伝統行事である、島っさる。子ども達が、各家を銅鑼を鳴らしながらまわり、悪疫を払う儀式に参加した。	

## VI 成果と課題

### 1 成果

- (1) 学校行事の際に、児童から招待状を贈るなど、地域に積極的に呼びかけることで、子ども達の行事に対する目的意識の高揚が図られ、主体的な取り組みが出来るようになった。
- (2) 子どもたちは、地域の行事に参加することで、地域の伝統・文化に触れ、その重要性を知ると同時に、目上の方々に対する礼儀やマナー、言葉使いを学ぶことができた。
- (3) 地域行事や学校行事を通して、様々な人々と交流し、人前で発表する場が増えた事と一つ一つの行事を体験した事により、少しずつ自信を持つことができ自己肯定感が高まってきた。
- (4) 夏休みに継続して行ったラジオ体操、子ども達の生活リズムの安定を図ることができた。また、子ども会と連携し、保護者が当番日を決め、学習会を行った事により、子ども達の学習意欲の継続に繋がった。
- (5) 島で取れた葉から草木染めや全校生徒でキャッサバからタピオカを作ったり、縄ないを地域の方に指導して頂いたり地域にある物で様々な体験活動を行う事ができた。

### 2 課題

- (1) 学校行事と地域行事の日程が重なったり、近かったりすることがあるので、事前調整をきめ細かく行った方が良い。
- (2) 基本的な生活習慣とあいさつの定着徹底のため、引き続き見守っていく必要がある。
- (3) 家庭学習の習慣化及び、定着化を図るなど継続した支援が必要である。